令和4年度シラバス　言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
音響学Ⅱ（音響・音声学実習）	講義	金田　純平	
時間数（単位数）	**授業回数**	**年次**	**開講時期**
30　時間　（　1　単位）	15　回	2　年次	前期

授業の目的・概要

音声学Ⅰで学習した内容について復習し、臨床および国家試験に必要なレベルの音声学の知識を深める。また、パソコンを用いた音声処理を行い、体験を通じて音圧、波形、スペクトル、フォルマント等の音響学の概念を学ぶ。さらに、音響分析ソフトを用いた嗄声や異常構音の分析について学習する。

授業の到達目標

音声の音としての性質を理解し、応用できる。
波形と周波数スペクトラムの関係について理解し、応用できる。
音声の分析の基礎を理解し、分析ソフトを正しく利用できる。

授業計画

回	内容
1	イントロダクション
2	音響学１：音の三属性・三要素・単位
3	音響学２：音圧・強さ・音圧レベル
4	音響学３：基本周波数と音の高さ
5	音響学４：波形と音色・倍音・周波数成分
6	音響学５：周波数成分とスペクトル
7	音響学６：フィルタ
8	音響学７：声帯振動とフォルマント
9	音響学８：音の知覚-マスキングと音響効果
10	音響分析実習：母音と子音の音響学的特徴
11	構音障害の分析実習１：異常構音の音響分析
12	構音障害の分析実習２：異常構音の音響分析
13	音声分析実習：嗄声の音響分析
14	構音障害の分析実習３：口蓋裂の異常構音
15	まとめ

成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	100%	試験の得点によって成績を定める。
レポート		
小テスト		
平常点		
その他		
自由記載		

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	海文堂
自由記載		

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		

備考